

2011年1月28日

報道関係各位

大塚テクノ、大塚製薬工場
中国の輸液用プラスチックフィルム製造販売会社へ
資本参加

大塚テクノ株式会社(本社:徳島県鳴門市、代表取締役社長:筒井康夫)と株式会社大塚製薬工場(本社:徳島県鳴門市、代表取締役社長:大塚一郎)は、輸液事業の海外展開の一環として、この度、中国江蘇省南京市において輸液用プラスチックフィルム^{こうそしやう}※(主に輸液製剤で使用)を製造販売する南京泰邦生物医用材料有限公司^{たいほう}への資本参加を決定し、2011年1月6日に包括契約を締結しました。 ※輸液バッグとして使用するフィルム

今回の出資により大塚テクノ株式会社と株式会社大塚製薬工場は、2011年1月末を目処に同社の株式の61.3%を取得することになります。株式の取得後は、同社を「南京大塚泰邦科技有限公司」に社名変更します。中国における輸液製品は、ガラス瓶・樹脂ボトルから安全性、利便性の面で優れるフィルムバックへと容器形態の転換が進んでおり、輸液用プラスチックフィルムの需要拡大が見込まれています。

大塚グループの中国エリアにおける輸液事業は1981年、大塚製薬株式会社と中国政府が合併で天津市に中国大塚製薬有限公司を設立したことから始まります。今回の資本参加により中国およびアジア地域において、高品質な輸液、輸液関連製品の生産、販売を強化してまいります。

南京大塚泰邦科技有限公司においては、今後、輸液用プラスチックフィルムに加え、輸液用キャップ・ゴム栓などの輸液関連製品の生産も視野に入れ、中国およびアジア地域に向けて、高品質な輸液関連製品の生産、販売を強化してまいります。

会社概要

大塚テクノ株式会社 (Otsuka Techno Co., Ltd.)

設 立	:	1985年12月2日
資 本 金	:	4,000万円
代 表 者	:	代表取締役社長 筒井 康夫 (つつい やすお)
本 社 所 在 地	:	〒771-0360 徳島県鳴門市瀬戸町明神字板屋島 120 番 1
従 業 員 数	:	389名 (2010年3月31日現在)
事 業 内 容	:	医薬品用プラスチック容器部材・精密成形品の製造販売

株式会社大塚製薬工場 (Otsuka Pharmaceutical Factory, Inc.)

設 立	:	1921年9月1日
資 本 金	:	8,000万円
代 表 者	:	代表取締役社長 大塚 一郎(おおつか いちろう)
本 社 所 在 地	:	〒772-8601 徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原 115
従 業 員 数	:	2,489名 (2010年3月31日現在)
事 業 内 容	:	医薬品、栄養製品の製造・販売

南京泰邦生物医用材料有限公司 (Nanjing TechBond Biomedical Material Co., Ltd.)

設 立	:	2003年9月25日
資 本 金	:	880万ドル
代 表 者	:	洪迪康(董事長)
本 社 所 在 地	:	中国江蘇省南京市
従 業 員 数	:	60名 (2010年3月31日現在)
事 業 内 容	:	非 PVC 生物医用フィルム、ポート材料および生物医用関連新材料の研究開発、生産、販売と技術支援